

開講年度	2021年度	科目名	Java応用	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2 単位	
学 年	3年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	実 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	これまで学習してきたJavaの技術と、本科目を通してより実践的なJavaの技術を用いてオリジナル制作を行います。単にプログラミングを行い制作するだけでなく、実用化も考え不具合を取り除き、ユーザビリティも考慮した作品に仕上げることを目標とします。			
到達目標	Javaを使用し、実用化を目標とした成果物を1から作り上げることが出来る。			
教科書・教材	やさしいJava活用編／SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	Java活用編～GUI～		
	2	Java活用編～コントロールの応用～		
	3	Java活用編～コントロールの活用～		
	4	Java活用編～ファイル操作～		
	5	オリジナル制作 (要件定義)		
	6	オリジナル制作 (設計)		
	7	オリジナル制作 (設計)		
	8	オリジナル制作 (コーディング)		
	9	オリジナル制作 (コーディング)		
	10	オリジナル制作 (コーディング)		
	11	オリジナル制作 (コーディング)		
	12	オリジナル制作 (テスト)		
	13	オリジナル制作 (テスト)		
	14	オリジナル制作発表準備		
15	オリジナル制作発表			
授業の進め方・履修の心構え	これまで2年間学習してきたJavaの知識・技術が身に付いていることが前提となります。実習形式の授業なので、解説以外の時間は自主的に計画を立てて制作を進めましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	システム改修	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	3年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目ではシステムを構築していきます。要件定義が出来上がっている仕様書をもとに、画面設計、プログラム詳細設計を書き起こし、その通りのコーディングを行います。単体テストや結合テストを十分にを行い致命的なバグはないか、何をどうすれば理想的なシステムに近づくのかを学習します。グループ作業に慣れることも含まれます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結果を考え仕様を作成できる</li> <li>・ グループ作業でプロジェクトの進捗を管理できる</li> <li>・ 作業中、バグの発生を予防できる或いはバグ発生時に適切に対処できる</li> </ul>			
教科書・教材	オリジナル			
授業計画	回	内 容		
	1	要件定義について取りまとめ、役割分担 (ブレンストーミング)		
	2	要件定義書から外部設計 (画面設計) の書き起こし		
	3	要件定義書から外部設計 (画面設計) の書き起こし		
	4	要件定義書から外部設計 (画面設計) の書き起こし		
	5	要件定義書から内部設計 (詳細設計) の書き起こし		
	6	要件定義書から内部設計 (詳細設計) の書き起こし / コーディング		
	7	要件定義書から内部設計 (詳細設計) の書き起こし / コーディング		
	8	要件定義書から内部設計 (詳細設計) の書き起こし / コーディング		
	9	要件定義書から内部設計 (詳細設計) の書き起こし / コーディング		
	10	単体テスト		
	11	単体テスト		
	12	結合テスト仕様作成		
	13	結合テスト実行		
	14	総合的反省		
15	総合的反省			
授業の進め方・履修の心構え	グループ作業での進捗管理、協調体制を築きあがられるようグループ分けを考え、構築中は毎日進捗を管理してできる限り完成できるように調整しながら進める			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 課題の提出状況及び完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	アプリ制作 I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	3年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	JavaScriptの基本的な学習及び、簡単なアプリを作成できるようになる為、JavaScriptを用いたスマートフォンアプリの開発を学習します。			
到達目標	アプリを作成する基礎知識を身に着ける			
教科書・教材	3ステップでしっかり学ぶ JavaScript入門/ (株)技術評論社 Monacaで学ぶはじめてのプログラミング～モバイルアプリ入門編～/アシアル(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	JavaScriptの基礎知識		
	2	変数と演算について/条件判断と繰り返し/ユーザー定義関数の作成		
	3	オブジェクトの操作/配列データの管理/Webオブジェクトについて		
	4	DOMの操作/AjaxとjQuery		
	5	Canvasでの描画		
	6	WebStorage		
	7	並列処理とメッセージング		
	8	MONACAの使い方		
	9	スマホ独自機能		
	10	ゲームを作ろう		
	11	ゲームを作ろう		
	12	アプリ開発設計書作成		
	13	アプリ開発設計書作成		
	14	アプリ開発設計書作成		
15	アプリ開発設計書作成			
授業の進め方・履修の心構え	教科書とそれに準じた問題を作成する事で、javascriptを実践形式で身に着ける 分からないことは自分から聞いてください (自分から発信できるようになって欲しいです)			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	ゲーム制作III	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3単位	
学年	3年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	ゲーム制作I及びIIで身につけた知識と技術をもとに、実際の制作を意識した学習を行います。制作工程の立案から作品の完成まで一通りを経験することにより、より制作について深く学習することを目的とします。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール通りに作品を制作できるようになる</li> <li>・制作過程で発生した問題に対して、分析を行う力を身につける</li> </ul>			
教科書・教材	特になし			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス・制作物の決定		
	2	制作（要件定義書作成）		
	3	制作（仕様書作成）		
	4	制作（仕様書作成）		
	5	制作（仕様書作成）		
	6	制作（仕様書作成）		
	7	制作（コーディング）		
	8	制作（コーディング）		
	9	制作（コーディング）		
	10	制作（コーディング）		
	11	制作（単体テスト）		
	12	制作（単体テスト）		
	13	制作（結合テスト）		
	14	制作（結合テスト）		
15	制作発表準備・制作発表			
授業の進め方・履修の心構え	授業開始時に予定を確認、制作を行った後に報告を行う形式で進めます。 また、制作中に問題等が生じた場合は、即時報告や相談を行って貰います。 実際の制作を意識した授業の為、主体的に取り組む必要があります。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	AIプログラミング	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	1 単位	
学 年	3年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	Pythonは、AIに関連の言語として人気が出てきているプログラミング言語です。Pythonを学ぶための準備からプログラムの書き方、基本文法、制御構文、関数までの基礎学習、簡単なアプリの制作や機械学習を体験演習を行い、初級Pythonエンジニアを目指します。			
到達目標	Pythonの基礎構文を理解し、プログラムが組めるようになる。			
教科書・教材	新しいPythonの教科書／SCC			
授業計画	回	内 容		
	1	Pythonの概要		
	2	学ぶための準備と基本文法		
	3	変数とデータ型		
	4	演算子		
	5	リスト		
	6	制御構文		
	7	関数		
	8	基本演習		
	9	オブジェクト指向プログラミング①		
	10	オブジェクト指向プログラミング②／ライブラリの活用①		
	11	ライブラリの活用①		
	12	総合演習①		
	13	総合演習②		
	14	機械学習①		
15	機械学習②			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。Javaが苦手でもPythonだとわかることがあるので、プログラミング言語を苦手でもプログラミングの楽しさ、奥深さを学んで欲しい。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	データマイニング	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	1 単位	
学 年	3年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	AIとIoTの元となるデータを如何にして収集し活用するのか各業界の実例を参考にデータを扱える人材となることを目的とする。			
到達目標	データマイニング (データアナリスト) としての基本知識と手法を覚える			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	データマイニングとは		
	2	データアナリストとデータアナリティクスの違いとは		
	3	データ分析手法について		
	4	ビッグデータについて		
	5	各種業界のデータの取り扱いと分析手法について		
	6	データ分析① (データ収集)		
	7	データ分析② (データ収集)		
	8	データ分析① (データ蓄積)		
	9	データ分析① (データ分析)		
	10	データ分析② (データ分析)		
	11	データ分析③ (データ分析)		
	12	データ分析① (データ活用)		
	13	データ分析② (データ活用)		
	14	プレゼンテーション①		
15	プレゼンテーション②			
授業の進め方・履修の心構え	身近な事象からデータの収集、分析をしていきます。身近なものを扱うことによりデータのありがたさや奥深さを知る事ができます。エクセルやデータベースが苦手でも学ぶことができます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 成果物の完成度			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	国家試験対策Ⅳ	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	3年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	「国家試験対策Ⅲ」に引き続き、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。特に基本情報技術者試験の修了認定試験合格者向けに午後問題の演習を中心に行います。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	2	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	3	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午後問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	5	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	「国家試験対策Ⅲ」を履修したことが条件となります。今までの学習の結果から、自分の学ぶべき分野を明確にし、対策を行うことが大切です。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	グループワークⅤ	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	3年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	全学科、全学年を在校生全員を対象して開講。システムや作品を作り上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための訓練を行います。			
到達目標	簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	自己紹介		
	2	グループワーク①		
	3	グループワーク①		
	4	プレゼンテーション		
	5	グループワーク②		
	6	グループワーク②		
	7	グループワーク②		
	8	プレゼンテーション		
	9	グループワーク③		
	10	グループワーク③		
	11	プレゼンテーション		
	12	グループワーク④		
	13	グループワーク④		
	14	グループワーク④		
15	プレゼンテーション			
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意見交換をしてもらいたい。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2021年度	科目名	就職支援	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	4単位	
学年	3年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	必修	教員の実務経験	無	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	就職準備のための授業です。本科目の中で自分の理想とする職業像をイメージし、就職活動に必須の準備を終了させます。自己分析・企業研究から始まる履歴書完成、エントリーシート準備、面接試験対策など具体的に作業していきます。机上の作業だけではなく、足・目・頭など体を十分に動かして準備していきましょう。			
到達目標	内定取得及び社会人としての基礎を身に付ける			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	送付状の用意、封筒表書き練習、封入方法		
	2	面接練習（個人、一次面接）		
	3	面接練習（個人、二次以降の面接）		
	4	面接練習（集団、オンライン）		
	5	送付状への追加、会社封筒の記入方法、簡易書留		
	6	現状分析		
	7	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	8	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	9	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	10	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	11	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	12	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	13	暑中見舞いの書き方		
	14	就職活動を振り返り作文作成		
15	今後のスケジュール作成			
授業の進め方・履修の心構え	いよいよ就職活動の本番がスタートです。自身でスケジュールを立て、計画的に進めましょう。応募書類作成や面接練習は早に準備するよう心掛けましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	HTML総合実習	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	3年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	今まで習ったWebに関する知識を活用しWebサイトを独自に作成できるようになる			
到達目標	Webサイトを構築できる			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	作成するWebサイトイメージを思案する①		
	2	作成するWebサイトイメージを思案する②		
	3	Webサイト仕様書、設計書作成①		
	4	Webサイト仕様書、設計書作成②		
	5	Webサイト仕様書、設計書作成③		
	6	Webサイト構築①		
	7	Webサイト構築②		
	8	Webサイト構築③		
	9	Webサイト構築④		
	10	Webサイト構築⑤		
	11	Webサイト構築⑥		
	12	Webサイト構築⑦		
	13	Webサイト構築⑧		
	14	Webサイト構築⑨		
	15	Webサイト構築⑩		
授業の進め方・履修の心構え	今まで学んだことを生かしてオリジナルのWebサイトを企画・構成から作成し完成させる			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	コミュニケーションⅣ	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	3年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	今まで学習したコミュニケーション力を活用しシステムや作品を上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための応用訓練を行います。簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。社会人として円滑な対応をするための敬語の使い方、挨拶の仕方なども学びます。			
到達目標	社会人として円滑な対応をするための敬語の使い方、挨拶の仕方相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身に付ける。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	「聞き方」「伝え方」の基本①		
	2	「聞き方」「伝え方」の基本②		
	3	「聞き方」「伝え方」のロールプレイング		
	4	「聞き方」のステップアップ「受容」と「3つの問いかけ」①		
	5	「聞き方」のステップアップ「受容」と「3つの問いかけ」②		
	6	「聞き方」のステップアップのロールプレイング		
	7	「伝え方」のステップアップ①		
	8	「伝え方」のステップアップ②		
	9	「伝え方」のステップアップのロールプレイング		
	10	ディスカッション ロールプレイング①		
	11	ディスカッション ロールプレイング②		
	12	ディベート ロールプレイング①		
	13	ディベート ロールプレイング②		
	14	総合演習 ロールプレイング①		
15	総合演習 ロールプレイング②			
授業の進め方・履修の心構え	ロールプレイングを行い、実践に近い意見交換、情報共有を学びます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	総合制作	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	8 単位	
学 年	3年次	時間数	240 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、これまでに学んだことの集大成です。プロジェクトを立ち上げてシステム開発に取り組みます。チームメンバーとコミュニケーションをはかり、協力してシステムを完成させます。</p>			
到達目標	<p>本学でこれまで履修した科目で学んだ知識・技術を活かし、チームで成果物を完成させる。</p>			
教科書・教材	特になし			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス・プロジェクトの概要説明・制作物の決定		
	2	制作（要件定義書作成）		
	3	制作（仕様書作成）		
	4	制作（仕様書作成）		
	5	制作（仕様書作成）		
	6	制作（仕様書作成）		
	7	制作（コーディング）		
	8	制作（コーディング）		
	9	制作（コーディング）		
	10	制作（コーディング）		
	11	制作（単体テスト）		
	12	制作（単体テスト）		
	13	制作（結合テスト）		
	14	制作（結合テスト）		
15	制作発表準備・制作発表			
授業の進め方・履修の心構え	<p>毎回の始まりと終わりにチームミーティングを行います。 チーム制作の為、報告・連絡・相談を意識して制作に努める必要があります。</p>			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 制作物および制作発表による評価</p>			
評価基準	<p>S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点</p>		<p>C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2021年度	科目名	コミュニケーション応用	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	3年次	時間数	30時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	無	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	今まで学習したコミュニケーション力を活用しシステムや作品を上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための応用訓練を行います。簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。社会人として円滑な対応をするための敬語の使い方、挨拶の仕方なども学びます。			
到達目標	社会人として円滑な対応をするための敬語の使い方、挨拶の仕方相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身に付ける。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	コミュニケーションのあり方 (社会、集団) ①		
	2	コミュニケーションのあり方 (社会、集団) ②		
	3	意見を出すための基礎技術①		
	4	意見を出すための基礎技術②		
	5	意見を出すための基礎技術③		
	6	ビジネスコミュニケーションの技術①		
	7	ビジネスコミュニケーションの技術②		
	8	ビジネスコミュニケーションの技術③		
	9	コミュニケーションを円滑に行う資料作成①		
	10	コミュニケーションを円滑に行う資料作成②		
	11	コミュニケーションを円滑に行う資料作成③		
	12	演習②		
	13	応用演習①		
	14	応用演習②		
15	応用演習③			
授業の進め方・履修の心構え	話す、聞くだけでなく、視点からのコミュニケーションを意識した資料作成も含めた授業をおこなします。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	アプリ制作 II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2 単位	
学 年	3年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	「アプリ制作 I」で学習した内容を活かし、さらに深い技術を身に付け、「アプリ制作 I」で制作したアプリよりもさらに高度な作品の完成を目指します。			
到達目標	スマートフォンアプリの制作ができる			
教科書・教材	特になし			
授業計画	回	内 容		
	1	概要説明		
	2	アプリの作成～要件定義～		
	3	アプリの作成～要件定義～		
	4	アプリの作成～設計～		
	5	アプリの作成～設計～		
	6	アプリの作成～設計～		
	7	アプリの作成～製造～		
	8	アプリの作成～製造～		
	9	アプリの作成～製造～		
	10	アプリの作成～製造～		
	11	アプリの作成～テスト仕様書作成～		
	12	アプリの作成～テスト仕様書作成～		
	13	アプリの作成～テスト～		
	14	アプリの作成～テスト～		
15	アプリの評価判定			
授業の進め方・履修の心構え	自分で設計したアプリを制作していきます 設計からテストまで一連の作業が行えるので、アプリを作る技術以外にも身に付けて欲しいです			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) アプリの完成度による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	プレゼンテーションⅡ	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	3年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目では、「プレゼンテーションⅠ」で学んだ内容を基に、コミュニケーション能力および自己表現能力を高め、就職試験や面接に向けた対策を行います。</p> <p>また、チームを組んでプレゼンテーションを行うことで、協調性の向上を目指します。</p>			
到達目標	就職活動開始時に自己紹介と自己アピールができる			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	自己紹介・科目説明		
	2	個人課題提示・下調べ①		
	3	下調べ②		
	4	プレゼン・資料作成①		
	5	プレゼン・資料作成②		
	6	発表練習		
	7	課題発表		
	8	チーム課題提示・ディベート①		
	9	ディベート②		
	10	プレゼン・資料作成①		
	11	プレゼン・資料作成②		
	12	プレゼン・資料作成③		
	13	発表練習①		
	14	発表練習②		
15	課題発表			
授業の進め方・履修の心構え	「プレゼンテーションⅠ」を履修したことが条件になります。ディベートを通して自身の意見を発信し、協調性を高めることが重要です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況及び完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) プレゼンによる評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	ビジネスマナー	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2 単位	
学 年	3年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	社会人として働くうえで、多種多様なビジネスシーンにおける様々なビジネスマナーが存在します。本科目では、社会人としてより早く自立し、円滑に仕事ができるよう知識・スキルを学びます。			
到達目標	卒業後に社会人として、自信をもって行動できる基礎を身に付ける			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	第1章 ビジネスマナーの基本1～姿勢、服装、心構え		
	2	第1章 ビジネスマナーの基本2～言葉遣い、気遣い、あいさつ		
	3	第2章 社内のビジネスマナーとルール1～効率的な仕事の進め方、時間について		
	4	第2章 社内のビジネスマナーとルール2～一日の時間の使い方、人間関係		
	5	第2章 社内のビジネスマナーとルール3～報告・連絡・相談、会議について		
	6	第3章 電話のマナー 電話のマナー、電子メールのマナー		
	7	第4章 対応のマナー1～社内での対応		
	8	第4章 対応のマナー2～訪問先でのルール		
	9	第5章 ビジネス文書の基本マナー1～基本的なビジネス文書でのマナー		
	10	第5章 ビジネス文書の基本マナー2～ビジネス文書作成		
	11	第6章 慶弔・贈答・会食のマナー1～基本的な慶弔マナー		
	12	第6章 慶弔・贈答・会食のマナー2～会食マナー		
	13	第7章 国際ビジネスマナー		
	14	ビジネスマナー実践1～会社あてに書類を作成し、郵便で送付する		
15	ビジネスマナー実践2～会社宛てに書類を作成、電子メールでやりとりする			
授業の進め方・履修の心構え	毎週10分間ずつ作業日報を記録する。 毎週小テストを実施する。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	午前問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	午前問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	午前免除保持者は午後問題を、未保持者は午前・午後両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2021年度	科目名	Javaプログラミング受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、サーティファイ主催Javaプログラミング能力認定試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。各級位の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	Javaプログラミング能力認定試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (式と演算子)		
	2	問題の内容理解と練習 (条件分岐)		
	3	問題の内容理解と練習 (繰り返し)		
	4	問題の内容理解と練習 (配列)		
	5	問題の内容理解と練習 (メソッド)		
	6	問題の内容理解と練習 (クラスとインスタンス)		
	7	問題の内容理解と練習 (継承)		
	8	問題の内容理解と練習 (インターフェース)		
	9	問題の内容理解と練習 (多様性)		
	10	問題の内容理解と練習 (カプセル化)		
	11	問題の内容理解と練習 (クラスライブラリ)		
	12	問題の内容理解と練習 (例外)		
	13	問題の内容理解と練習 (スレッド)		
	14	問題の内容理解と練習 (GUI)		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。分からない問題は自分で実際にプログラミングし、実行結果を確認して理解を深めましょう。</p>			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験1～3級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2021年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	午前問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	午前問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	午前免除保持者は午後問題を、未保持者は午前・午後両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2021年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2021年度	科目名	MCP受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。グレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	2	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	3	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	4	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	5	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	6	問題の内容理解と練習（データ）		
	7	問題の内容理解と練習（データ）		
	8	問題の内容理解と練習（データ）		
	9	問題の内容理解と練習（データ）		
	10	問題の内容理解と練習（生産性）		
	11	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	12	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	13	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
	14	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点</p>		<p>C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2021年度	科目名	MOS受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。各オフィスソフトでグレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) 合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (Word)		
	2	問題の内容理解と練習 (Word)		
	3	問題の内容理解と練習 (Word)		
	4	問題の内容理解と練習 (Word)		
	5	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	6	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	7	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	8	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	9	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	10	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	11	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	12	問題の内容理解と練習 (Access)		
	13	問題の内容理解と練習 (Access)		
	14	問題の内容理解と練習 (Access)		
15	問題の内容理解と練習 (Access)			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist)</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	